



HOKKAIDO
SUMMER
INSTITUTE

G107

SDGs演習： 課題解決に向けた国際共修PBL

SDGs Seminar: international Colearning PBL for problem solving

—演劇の手法を取り入れた問題解決型学習—



持続可能な社会を実現する国際協働型人材育成プログラム



北海道大学

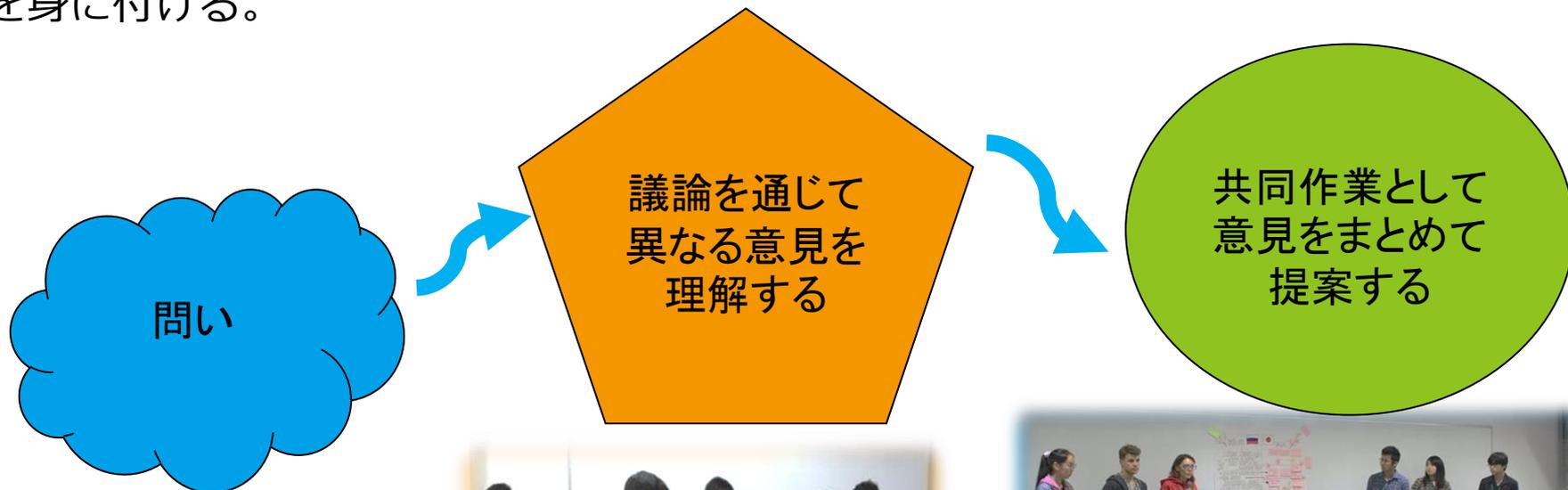
科目責任者
加藤 博文 (アイヌ・先住民研究センター)

PBLとは？

PBL：課題解決型学習（Project Based Learning）
問題解決型学習（Problem Based Learning）



学生が自ら、実世界で直面する問題を議論し、解決策を検討することで
個別学問の枠に捉われない汎用性の高い能力（トランファラブル・スキル）
を身に付ける。



演劇を使ったコミュニケーション能力の獲得



Lize Puppet Art Colony, Taiwan

台湾におけるワークショップ



アーティスト向けワークショップ(英国) ↑
<https://www.facebook.com/LondonSchoolOfPuppetry/>



礼文島でのワークショップ

演劇では、相手が必要。また異なる意見の対比で物語が創られる。

演劇の手法を授業に導入することで、対話し、調整し、自分とは異なる意見の立場を演じ、コミュニケーション力を養成する。

非常勤講師：人形作家・演出家 沢則行氏



©Youhei KUBOTA

沢 則行 氏

チェコ在住の人形劇師・演出家

チェコ科学アカデミーや
スタンフォード大学などで講座や
ワークショップを行った豊富な経験



OPEN ART, z.s., Czech Republic



©Y.Inokuma

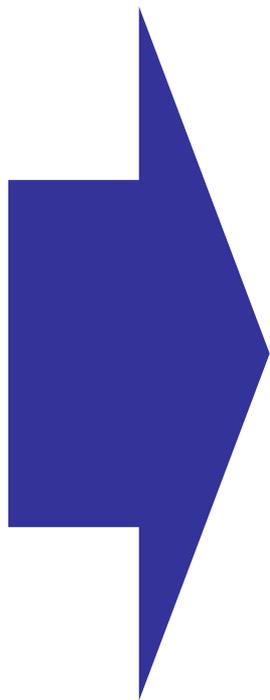
現在、パリで「ギルガメッシュ」上演中

なぜPBLか？

多様な文化的背景を持つ世界各地から集まる学生の交流

地域別の国際共同教育科目から

世界を対象とした分野横断型の
国際共同科目の展開



目指すもの：創造力・応用力・表現力の修得



この授業のゴールは、
海外の学生と共に学び、個性を基礎とした多様性を理解し、自己主張できるコミュニケーション能力とトランファラブルな能力を獲得すること！



HSIの一環として礼文島で実施した演劇ワークショップ（2018年8月）
北大生やヨーロッパ、アジア諸国の学生が参加



札幌市こどもの劇場やまびこ座



北海道大学